

2007年
1月号

Mini-WAN

～三河港湾事務所たより～

国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行(No.1)



Mini-WANとは

三河港湾事務所従来から発行している季節広報誌「m-wan(エムワン)」では扱うことが難しかった新鮮な話題を中心に情報提供を行い、地元の皆さんとのつながりを大切にする広報誌です。

☆最近のトピックス☆



- ミスみなと「海の女王」が一日所長に！
- 川と海のクリーン大作戦
- 豊川市立金屋小学校児童が三河港見学
- 三遠南信コミュニティカレッジ
- 豊橋100祭開幕を振り返って

◎巻頭コラム◎ 三河港湾事務所長 田辺義夫

平成19年の新春を迎え

謹んでお慶び申し上げます。



当事務所は昭和39年4月1日に伊勢湾港湾建設部衣浦港工事事務所として半田市に事務所が開設されました。

昭和62年1月1日、衣浦港工事事務所を組織変更して、三河湾での新たな港湾整備を所掌する三河港工事事務所を豊橋市に新設しました。その後、省庁再編により国土交通省中部地方整備局が設置され、平成15年4月1日から三河港湾事務所に名称変更され現在に至っています。

当事務所では豊橋市に新設されて20周年を迎えたこの年に今後の新たな飛躍の好機とすることを願って手作りによる広報紙の発刊を企画した次第です。

過日購読した書物に依れば、人は見た目が9割、端的に言って「外見の威力」は強力なのであり更に、バーバル・コミュニケーション(言葉による伝達)より、ノンバーバル・コミュニケーション(言葉以外の伝達)の方が、伝達力が高い。さらにアメリカの心理学者の研究を引用して、話す言葉の内容は7%に過ぎない、残りの93%は顔の表情や声の質だとも言っています。

広報紙の発刊にあつては専門用語の解説、写真、図面等の活用に心がけて三河港、地域、事務所の話題等を幅広く皆様方にお伝えしたいと考えておりますのでご支援ご協力をよろしく願いいたします。



「海の女王」を迎えて、当事務所前での記念撮影

★シリーズ★ ～海と環境①～ 三河湾の環境問題について



現在の三河湾は、赤潮や苦潮が夏場に発生し、生物が住みにくい空間になっています。その原因は、私達の豊かな暮らしと引き替えに、家庭から生活排水等が流入して水を汚したことや、干潟や浅場が減り、そこで生活していた生物が減ったために、水質を浄化する能力が小さくなったことなどが挙げられます。次号からは、三河港湾事務所が実施してきました、環境改善の事業をご紹介します。



「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル



おーいに よくなれみなと

0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)

※一部の地域を除きます。

●全国どこからでも、この電話番号で最寄りの「海とみなとの相談窓口」につながります。



国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1

TEL(0532)32-3251 FAX(0532)32-5049

WEB <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>

E-mail info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp



☆最近のトピックス☆



東愛知新聞社選出の
「海の女王」吉野真由さん



○ミスみなと「海の女王」が一日所長に！

中部地方整備局三河港湾事務所、愛知県三河港務所、愛知県企業庁三河港工事事務所は、11月29日にミスみなと「海」「港」「船」の3女王を各所の1日所長に迎え、三河港の工事現場の合同安全パトロールを行い、労働災害の防止を呼びかけました。当日は港湾空港部港湾空港整備・補償課佐野課長補佐からも工事の安全施工について啓発がありました。ミスみなとの3女王は、「労働災害は一瞬のスキに起こります。日々の安全作業への配慮が非常に重要です！」と訴え、「港湾整備工事が私達の生活を支えてくれており感謝しています。」と強風が吹き荒れる寒い冬の臨海部で、工事現場作業員にあたたかい励ましをかけていただきました。



「海の女王」の1日所長

日々の安全作業への心がけが大切です！



労働災害防止を訴える

○豊川市立金屋小学校児童が三河港見学

平成18年11月17日、豊川市立金屋小学校の5年生68名が社会科の「日本の工業と貿易」の学習の一環として三河港を見学しました。ポートインフォメーションセンター「カモメリア」にて三河港を紹介するビデオ鑑賞及び展望塔よりモータープールなどの港湾施設の見学のほか、監督測量船「しおさい」による港内見学では、自動車運搬船等の荷役状況及び岸壁・防波堤等の港湾施設を見学しました。今後も、地元を対象とした社会見学の募集を実施しますので、ご連絡お待ちしております。



金屋小学校のみなさん

○豊橋100祭開幕を振り返って

豊橋市の誕生100年を記念し、平成17年8月から18年12月まで、様々なイベントが全市を挙げて取り組まれました。事務所や港湾空港部のかかわりで振り返っておきたいと思います。2年にわたる行事のオープニングイベントは「太陽の開幕祭」として神野埠頭8号岸壁で開催されました。事務所も「みなとの防災」をテーマに、模型やパネル展示を行いました。大勢の家族連れをはじめ、マスコットのトヨッキーや、同時期開催されていた愛知万博のモリゾーにもブースにお越しいただきました。3月21日には名古屋港湾事務所から新清龍丸が外洋訓練にあわせ初来港し、神野8号岸壁での一般公開では900名近い市民の方々に乗船いただきました。清龍丸の一般公開は、豊橋市100歳にちなみ100祭をこの期間実行しようという呼びかけに呼応したもので、100祭実行委員会からはサポート事業として認定を受けました。また、市ではこの期間中に様々な全国大会・会議の招致を行い、18年7月には港湾都市協議会の総会が豊橋市で開催され、全国から港湾関係者が一堂に会しました。節目の年にたまたま事務所に勤務し、諸行事に参画できたことは、忘れられない思い出になりました。早速ネクスト100をめざします。

○川と海のクリーン大作戦

10月22日(日)、伊勢湾、三河湾とその流域の河川の清掃活動「川と海のクリーン大作戦(三河地区)」が今年も渥美半島を中心に清掃活動を行っている環境ボランティアサークル亀の子隊(NPO)と共同して、田原市の西の浜で実施されました。約1時間の作業で約300kgのゴミを回収し、なかには海外のゴミや、海のない岐阜県内の町の名前の入ったプラスチック容器などが漂着しており、ゴミの多さに驚かされました。



トヨッキー



モリゾー

○三遠南信コミュニティカレッジ

12月16日(土)愛知大学において、豊川流域圏内に在住し豊川流域圏の森・川・海、市民参加型活動に関心のある方を対象に「とよがわ流域圏講座」が開講されました。その公開パネルディスカッション「流域圏一体化を考える」のパネラーとして当事務所長が参加し、三河港の現状と事務所が取り組んでいる海域の環境修復について発表しました。受講生からもパネラーに対しての質問・意見、受講に対しての意気込みなど活発な発言があり「あっと」いう間の2時間でした。

亀の子隊のみなさんと「川と海のクリーン大作戦」参加のみなさん

